

# 迎春



登米市長  
布施孝尚

## 豊かな自然、ロマンあふれる歴史 や文化など登米市の魅力を全国へ

あけましておめでとうございます。  
皆さまには、希望に満ちた新春を健やかに  
お迎えのことと、お慶び申し上げます。

今年、登米市は合併4年目を迎えます。合併以来「夢・大地 みんなが愛する水の里」を基本理念に、各種施策を実施してまいりましたが、市民皆さまの深いご理解と関係各位のご尽力により、合併の契機となりました広域4事業は、「消防防災センター」が今年3月、「火葬場」と「養護老人ホームきたかみ園（民設民営）」については平成20年度、「汚泥再生共同処理センター」については21年度に完成予定で進めております。

また、昨年11月に行われた「地方自治法施行60周年記念式典」において、「バイオ・ディーゼル燃料（BDF）推進事業」が独創的な取り組みであるとして評価され、『総務大臣賞』を受賞いたしました。市民皆さまとともにこの受賞を喜び合いたいと思います。

さて、全国的な問題となっている医師の偏在や不足による影響は、登米市にも大きくのしかかり、医師不足による医師の過重労働、さらには診療報酬の減額改定による経営の悪化など、現在の医療体制を維持することは非常に厳しい状況にあります。今後、市民皆さまのご理解をいただきながら、『安心・安全』な医療の提供と地域医療体制の維持を目指し、市立5病院の再編と改革を市政の最重要課題と位置付け、総力を挙げて取り組んでまいり

ます。

さらに、市の行財政運営につきましては、行政サービスの向上と行財政改革を推進してまいります。特に、複数の部門にまたがる行政サービスを一つの窓口で受付・提供できるようにする「ワンストップサービス」を充実し、市民皆さまがより利用しやすいサービス体制の整備に努めてまいります。

今年には宮城県内の自治体とJRが連携して行う「仙台・宮城デスティネーションキャンペーン」が開催されます。また、20年度中には三陸縦貫自動車道「登米インターチェンジ（仮称）」が開通予定となっております。県内外から多くの観光客が訪れる見込みであります。これらを登米市の魅力をPRする絶好の機会ととらえ、市が誇る農産物や産業、豊かな自然、ロマンあふれる歴史・文化などを全国各地へ向けて発信するとともに、企業誘致などの地域振興策の推進にもつながるよう、さまざまな取り組みを実施してまいります。

市民皆さまとの協働によるまちづくりを推進し、愛着と誇りを持っていただけるまちづくりのため、全職員一丸となって各種施策の充実に向けてまいりますので、昨年に引き続き皆さまのご支援とご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

今年一年が皆さまにとりまして、明るく幸せな年でありますように、心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

## 『輝く未来・夢大地・登米市』の 実現に向けてまい進を

あけましておめでとうございます。

皆さまには、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。登米市議会を代表して謹んで新年のごあいさつを申し上げます。日ごろの市議会活動に対し、特段のご支援ご提言をいただき、心から深く感謝を申し上げます。わたしが昨年6月から、第2代登米市議会議員の重責を担うことになり、今更ながらその使命の重大さを痛感いたしております。新春に当たり、市民との協働の精神のもと、『輝く未来・夢大地・登米市』の実現に向けて、議員各位とともに心新たにまい進することをここにお願い申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、日本経済はバブル経済の崩壊による負の遺産処理が済み、いざなぎ景気を超える過去最長の好景気が続いていると報じられてはいるものの、地方経済にあつてはまだまだその手応えが感じられず、依然として厳しい状況が続いております。とりわけ市の基幹産業であります農業は、平成19年からの品目横断的経営安定対策において、多くの小規模農家が加入できなかったことや、全国的には23万トンの過剰米が発生したことで米価が大幅に下落し、担い手の経営を直撃、小規模農家の営農意欲の減退など、大きな不安を抱えております。安全・安心、そして良質・良食味米の安定生産と、売れる米づくりに取り組んでいく必要性を再認識しているところであります。

新生登米市の誕生以来今日まで、市当局・

議会それぞれが市政の新たな仕組みづくりを模索しつつ、国・地方ともに大変厳しい財政事情の中にあつて、「火葬場」や「消防防災センター」「汚泥再生共同処理センター」「養護老人ホームきたかみ園」の新築整備が決定し、21年度には登米地域の長年の懸案事項でありました「登米広域4事業」のすべてが完成する運びとなりましたことは、誠に喜ばしい限りであります。

登米市における緊急の課題は、9万市民の「健康・安全・安心」を守る土台となる市立5病院再編整備、地域医療体制の確立などにあると認識しております。市民皆さまの意見を広く聞きつつ、市当局・議会がともに知恵を出し合い、課題解決に向けて懸命に努力してまいります。また、何より地域経済の安定なくして登米市の持続的発展はあり得ません。三陸縦貫自動車道「登米インターチェンジ（仮称）」の開通により、企業誘致や商工業などの地域産業の振興、雇用・起業などに大きな弾み期待でき、積極果敢な取り組みが求められております。加えて、少子・高齢対策、教育環境の整備など、重大な政策課題が山積しております。

市議会が一丸となって市民の期待に応えるべく懸命に努めてまいります。市民皆さまのお一層のご指導・ご鞭撻を切にお願いを申し上げます。年頭のごあいさつといたします。



登米市議会議員  
庄子喜一